



桜美林大学日本語文化学院(留学生別科) 2022 年春学期 入学募集要項

目次

1. 出願から入学まで
2. コースと特色
3. 募集人員と出願条件
4. 出願書類
5. 検定料と学費の支払い

2022 年度授業運営についての注意事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、桜美林大学日本語文化学院(留学生別科)の授業は、オンラインで実施される可能性があります。詳細は決定し次第、ウェブサイトもしくは、メールにて連絡します。

1. 出願期間等の日程

日程		第 1 回	第 2 回
インターネット出願	出願登録	9月16日(木)～10月15日(金)	10月16日(土)～11月15日(月)
	出願書類提出締切	10月31日(日)	11月30日(火)
J-CAT (※1) 試験実施日		10月26日(火)	11月25日(木)
WEB面接試験実施日		11月2日(火)	12月2日(木)
合格発表日		11月9日(火)	12月9日(木)
入学手続締切日		11月16日(火)	12月16日(木)

※1 J-CAT(Japanese Computerized Adaptive Test)は、コンピュータを用いて日本語能力を判定するテストです。]

2. コースと特色

桜美林大学日本語文化学院(以下:本学院)は、日本留学を希望する外国人留学生のための、最も理想的な予備教育機関の一つである。標準修業年限は1年であるが、進学先が決まった場合、半期(1学期)でも修了可能である。学習コースは次の4つ。

A. 大学院進学コース:

大学院入学を希望する留学生が、大学院での勉学に必要な日本語力を修得し、必要な専門知識を学ぶためのコース(日本語能力試験N1に合格していることが望ましい)。

B. 大学編入コース:

大学3年次編入を希望する留学生が、大学3・4年次での勉学に必要な日本語力を修得し、必要な専門知識を学ぶためのコース(日本語能力試験N2に合格していることが望ましい)。

C. 大学進学コース:

大学1年次入学を希望する留学生が、大学入試レベルの日本語力、その他の学力の修得、および日本留学試験高得点や日本語能力試験N1合格を目標とするコース。

D. 日本語学習特別コース:

大学または大学院に在学中の者で日本における研究目的のための日本語学習短期留学コース(大学院在学学生は研究計画書の提出が必要)。

(本学院の主な特色)

- ① 出願者の進学先の専門を問わない。
- ② 学習指導はもとより、進学指導も徹底して行う。
- ③ 桜美林大学の科目が履修でき、成績証明書も発行される。修得した単位は、桜美林大学に進学した場合、規定により認定される(なお履修にはいくつかの条件がある)。
- ④ 大学生と同様に学内の施設や設備の利用ができる。
- ⑤ 大学生・大学院生、留学生との交流の機会が多い。

3. 募集人員と出願条件

(1) 募集人員

60人(春・秋の2回で年間120人)

(2) 出願条件

- ① 外国における12年間の課程を修了し、大学入学時に18歳以上であること。
(指定修学期間等、国家により事情が異なる場合は個別に問い合わせより連絡のこと)。
- ② 日本語力が日本語能力試験N3相当以上(※1)。
- ③ 進学や研究を目的とし、十分な学習意欲を持ち合わせている者であること。
- ④ 日本国内の他の日本語教育機関で在籍した期間が、本学院入学までに1年を超えていないこと。
- ⑤ 日本での留学生活に必要な経費を支弁する能力があること。
- ⑥ 在留資格の不交付歴がないこと。

※1 下表のうち、どれか一つ以上取得していることが望ましいが、いずれも取得していない場合は、本学院指定の日時でJ-CATを受験し、日本語能力を判断する。

名称	スコア/レベル
日本語能力試験	N3
J.TEST	D級
NAT-TEST	3級
EJU 日本語(記述は除く)	150点

4. 出願書類

		出願書類	○全員必須 △該当者のみ		提出方法	日本語 訳文	注意事項
		※Excelデータは本学院にメール添付してください(PDF不可。入力可能箇所のみ入力。データは他の書式に変換しないでください。) ※証明書はPDFで本学院にメール添付してください ※提出された書類は、合否にかかわらず返還しません ※証明書は必ず3か月以内に発行され、かつ母語で記載されたものをご準備ください	最終学歴		出願時はデータ添付が良いですが、 原本 を提出いただく場合がありますので、原本は大切に保管しておいてください		※証明書は「発行機関名」「部署」「発行機関の住所、電話番号」「発行者氏名」などが掲載されている原本をご準備ください ※日本語以外の言語は日本語訳文を添付してください(書式自由・翻訳者は問いません)
			卒業生	在学生			
1	志願者本人	写真	○	○	データをメール添付(Jpg形式)	-	縦4cm×横3cm、脱帽・上半身・正面・背景なしのもので同一写真、6ヶ月以内の撮影。
2		履歴書 (様式1～様式2)	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	・ExcelファイルにPC入力してください ・出願時点では様式2下部の署名は不要です。必要に応じて本学院より依頼します。
3		就学理由書(様式3)	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	・500～600字程度、具体的に書いてください ・日本語で書ける者は日本語のみの提出でよいです ※詳細はエントリー後に本学院よりメール送信する「記入例」をご参照ください
4		別科調書(様式4)	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	ExcelファイルにPC入力してください ※支弁者提出資料と矛盾の無いようにご注意ください
5		成績証明書(日本語学校を除く)	○	○	PDFをメール添付	要 (Wordデータをメール添付)	全学年、全科目の成績や単位が載っているものを提出してください ※留学歴(1年未満)のある者は在籍していた日本の学校の「出席証明書」「成績証明書」も提出してください ※在学生は卒業後に全成績が載っている最終の証明も提出してください
6		・卒業証書コピー ・卒業見込証明書	卒業証書コピー	卒業見込証明書	PDFをメール添付	要 (Wordデータをメール添付)	在学生は卒業後に「卒業証書コピー」も提出してください ※中国の四年制大学卒の学生は「学位証書コピー」も提出してください
7		「日本語能力試験」「J.TEST実用日本語検定」「日本語NAT-TEST」「日本語留学試験」等の成績表 ※上記の公的試験未受験者は日本語教育機関発行の「日本語学習証明書」	○	○	【日本語公的試験】PDFをメール添付 公的試験未受験者「日本語学習証明書」PDFをメール添付	【日本語公的試験】不要 公的試験未受験者「日本語学習証明書」日本語表記のため不要	【日本語公的試験】成績や点数が載っているものを提出してください ※公的試験未受験者は「日本語学習証明書」を提出してください ・現地日本語教育機関の書式で作成、発行されたもの(日本語表記) ・氏名、生年月日、性別、学習期間、出席率、履修内容、コース名称、当該コースの終了目標レベル、使用教材名が記載されたもの ※中学・高校・大学で日本語を継続的に学習し、成績証明書がある者は、提出不要
8		パスポートのコピー	○	○	PDFをメール添付	不要	・有効なパスポートの顔写真ページのコピーを提出してください ※過去に日本に『留学』の在留資格で入国歴のある場合は、在留資格シール、出入国日のスタンプページのコピーも提出してください ※パスポート未取得者は、自国でビザを申請する際必要になるので、早急に取得してください
9	経費支弁者	経費支弁書	○	○	Excelデータをメール添付	要 (Excelデータをメール添付)	・ExcelファイルにPC入力し、印刷してください ・経費支弁者の氏名は必ず 直筆 で署名をしてください ※詳細はエントリー後に本学院よりメール送信する「記入例」をご参照ください(支弁方法は各自ご家庭の状況に合わせて書いてください)
10		親族関係公証書	○	○	PDFをメール添付	要 (Wordデータをメール添付)	公的機関が発行したものを提出してください ※出願者と経費支弁者の関係が載っている証明です
11		残高証明書	○	○	PDFをメール添付	不要	経費支弁者の150～200万円相当の銀行残高証明書 ※凍結期間は6ヵ月～1年が望ましいです

※国籍・地域により、上記以外の追加書類を求める場合があります。その際にはエントリー完了後に本学院よりエントリー者へ必要書類の案内をいたします(追加書類:経費支弁者の家族一覧表、経費支弁者の家族構成を立証する資料、在職証明書、収入および納税証明書(過去3年分)、資金形成過程立証資料(過去3年分)など)。

※【様式1～4】【支弁書】本学院指定フォームです。エントリー完了後に本学院よりエントリー者へメール送信します。

5. 検定料と学費の支払い

(単位:円)

	金額
検定料	15,000
学生サービス費	30,000
入学金	100,000
半期(1学期)授業料	250,000

検定料と学費の支払いはクレジットカードで行う。

検定料は出願時に支払い、その他は入学手続きの際に別途案内する(尚、本学院対応のクレジットカードを持っていない等の理由で出願ができない場合は問い合わせを通して連絡すること)。

納付された費用は、入学日前日までに入学辞退手続きを完了した場合、授業料のみ返還する。入学金はいかなる場合でも返還しない(在留資格認定証明書・ビザが交付されなかった場合でも入学金は返還しない)。在留資格認定証明書が交付された場合、在留資格認定証明書を本学院に返却した後に授業料を返還する。

6. 選考方法と合否発表

書類選考、その他必要に応じて Web による試験や面接を行う。

合否結果・選考についての質問は受けない。

合格者には、合格通知とともに「入国・入学に関する書類」を添付しメールを送付する。

7. 在留資格「留学」の取得について

留学生として日本に入国するためには、「留学」の査証(ビザ)を取得する必要がある。本学院が代理人となり、本人に代わって出入国在留管理庁に「在留資格認定証明書」の交付申請を行い、申請結果を本人に通知する。「在留資格認定証明書」の交付を受けた後、本人が居住する国・地域を管轄する日本大使館または日本領事館へ査証を申請する。

「在留資格認定証明書」の交付までには、1 か月半~2 か月程度かかる。

問い合わせ先

桜美林大学日本言語文化学院(留学生別科)事務室

ウェブサイト: https://www.obirin.ac.jp/japanese_extension/

住所: 〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

メールアドレス: rywx@obirin.ac.jp

電話番号: 042-797-2787 (平日 9:00~17:00)

以上